月間報告書　2024年4月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学
氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31
年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Literatura Brasileira Ⅰ	ブラジル文学Ⅰ	1800	授業
2	Literatura Portogesa Ⅰ	ポルトガル文学Ⅰ	720	授業
3	Curtura Japonesa Ⅰ	日本文化Ⅰ	960	授業
4	Aspecto de Cultura Brasileira Ⅰ	ブラジル文学の側面Ⅰ	960	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

2月

月曜日の1限目。ブラジルポルトガル語の詩と短文の比較と歴史について学んだ。

3月

月曜日の1限目。ブラジルポルトガル語の詩と短文の比較と歴史について学んだ。Gilda de Melloの詩を読み解釈し、現代のモダンと比較する

4月

この授業は月曜日の1限と木曜日の2限に行われ、月曜の授業を履修するものは必修科目として受講しなければならない。詩を読み、現代の社会主義

や進化論について学び、現代社会との比較をした。

No.2

2月

火曜日の2限。なぜ、どのようにしてポルトガル語がブラジルで話されるようになったのかを学んだ

3月

先生の都合上休校

4月

インドに向かって航海していたペドロ・アルバレス・カブラウというポルトガル人がブラジルを発見したことについて学んだ。そしてポルトガルの植民荷にはなったが、以前からインディオという先住民が暮らしていた。

No.3

3月分

金曜日の1限目。ポルトガル語で日本の歴史を学ぶ。古墳時代から奈良時代までの主な時代の流れ、出来事またその時代の有名な作品をポルトガル語で学ぶ。

4月

「卑弥呼」というポルトガル字幕付きの日本映画を視聴した。そこには乗馬する描写が描かれていたが弥生時代には、まだ乗馬する文化はないという先生からの説明があった。三月に学んでいた弥生時代で学んだことを復習しながら視聴した。

No.4

3月分

金曜日の3限。この授業は留学生対象の授業であり、週ごとに教授が替わり、ブラジルの土地、スポーツ、芸術などを学ぶ

4月

南米大陸における最初の人類集団の起源を理解し、先住民族のコミュニティの形成と組織化について学んだ。アマゾンの事例を元にして考古学と人類学の発展が先住分野に分野にあたえる影響を学んだ

Ⅲ．生活編

2月分

滞在許可証は3月13日にサンパウロ警察に行き、申請予定。2月20日に出発。21日に到着し、その後は現在住んでいる大家さんが迎えに来てくださり、宿舎に到着。授業は3月12日までは自分の興味のある授業を受講できる。3月13，14，15日の間に履修登録を行う。留学が始まり3週間ほど経つが言語の壁に衝突。話せるようになるために日々授業後は勉強している。

3月分

言葉の壁もまだ感じるが、ブラジルの生活には慣れ、現地でできた友人に支えられながら日々生活している。週末は友達と観光地に行ったり、学校に行きスポーツを楽しむなど一人で過ごすのではなく、なるべく言語に触れるようにしている。

4月

四月に入り、サンパウロ大学の文学部のハンドボールチームに入部しました。サンパウロ大学はさまざまな学部があるのでそれぞれの学部にスポーツチームがあります。私は文学部に入学していますので、文学部のチームに所属しました。まずハンドボールチームの存在を知ったのはブラジル人の友人にスポーツの話をした際に私に教えてくれました。すぐにチームに連絡を送り、参加の許可をいただきました。連絡を送った週末に物理学部と試合があったので観戦に行きました。結果的には同点の試合でしたが、観戦するとさらに参加したい意欲がわきましたので、次からの練習に参加しました。練習は火曜日の20時半から、木曜日の18時から2時間行われます。言葉の壁はまだまだ感じますが、チームのメンバーはすごく親切に接してくれます。スポーツを通じてコミュニケーションをとり、語学を学んでいく上で、楽しみたいと思います。

月間報告書　2024年5月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Literatura Brasileira Ⅰ	ブラジル文学Ⅰ	1080	授業
2	Literatura Portogesa Ⅰ	ポルトガル文学Ⅰ	480	授業
3	Curtura Japonesa Ⅰ	日本文化Ⅰ	600	授業
4	Aspecto de Cultura Brasileira Ⅰ	ブラジル文学の側面Ⅰ	600	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

月曜日の1限と木曜日の2限の授業。コルデル文学について学んだ。コルデル文学とは、ギターの伴奏と共に弾き語られたポルトガル語の四行詩、十一行詩を文字に起こしたものからなっている文学であり、代表的な作品を読んだ

No.2

火曜日の2限の授業。ナポレオン戦争終戦後に、ポルトガルにももたらされたロマン主義ににいて学んだ。ポルトガルにおけるロマン主義は1825年に詩人のアルメイダ・ガレット が滞在中のフランスで『カモンイス』を著したことによって導入されたとされている

No.3

金曜日の1限。奈良、平安時代についてポルトガル語で学んだ。主に藤原氏の存在がこれらの時代であたえた影響や家系図をもとにして重要人物を学んだ。

No.4

金曜日の3限。トロピカリア運動、1960年代の音楽と政治について学んだ。他の地域の伝統的な音楽も見直そうという姿勢があり、そこにビートルズをはじめとするエレキ・サウンドやロックも取り入れて、自由でユニバーサルなサウンドを作ろうとした 。

Ⅲ．生活編

5月19日にSanta Mariaという場所にある体育館で初めて別の大学とのハンドボールの試合があり、チームメンバーとして観戦しました。最近入部したので試合登録に間に合わず、出場はできなかったのですが、接戦の末、試合終了1分前に逆転し、試合に勝つことができました。普段から練習をともにしているメンバーが勝つところを目の当たりにして、メンバーとしてよかったと思いました。試合終了後はみんなと集合写真をとりました。送付している写真が試合後の写真になります。試合直前にはメンバーから次は一緒に試合に出場しようと声をかけてもらえたり、試合終わりには家から遠いと言うこともあり、メンバーの一人が来るまで送ってくれ、優しさにも触れた一日になりました。

月間報告書　2024年6月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Literatura Brasileira Ⅰ	ブラジル文学Ⅰ	1080	授業
2	Literatura Portogesa Ⅰ	ポルトガル文学Ⅰ	480	授業
3	Curtura Japonesa Ⅰ	日本文学Ⅰ	480	授業
4	Aspecto de Cultura Brasileira Ⅰ	ブラジル文学の側面Ⅰ	480	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

ブラジルの代表的な漫画、as sombras da vidaを読み、自身の感想をレポートに書いて、提出した。固定概念に縛られず、もっと広い視野で物事を見つめる必要がある。という内容のＷｏｒｄ4枚文のレポートを提出。

No.2

先生が授業は6月で終了したため、授業なし。

No.3

平安時代も主に藤原氏について学んだ。京都の都が平安京に移された理由などをポルトガル語で習った。最後の授業では五人組になり、平安時代に何が起こったのかを、話し合い一枚の紙にそれぞれ平安時代の出来事について書いた。

No.4

ブラジル、サンパウロの地形や気候などの授業を受けた。例の一つとして、海抜約740mで、周囲の丘や小さな山に囲まれている。そしてこの授業の課題では、京都との地理、気候と授業で習った内容と比較したレポートを提出した。

Ⅲ．生活編

6月はfesta jyuninaというブラジルの代表的なイベントがさまざまなところで開催されていた。このイベントはチェックシャツやハットをきて参加する人が多く、いろいろな食べ物や飲み物が販売され、そしてみんなと踊ったり歌たっりする賑やかなイベントであった。僕は学校のハンドボールチームのメンバーとchevetteというブラジルのお酒を販売しながら、友達と踊ったりしました。

1学期が終わる週の終わりに友達のBBQにまねいてもらい、友達の親戚や友達と一緒にお肉やブラジル料理を堪能にした。ブラジルでは自炊での食事や学食がほとんどなのでブラジルに到着して初めて、愛の感じる料理を食べた気がします、それに友達の親戚も僕に対しとても温かく迎えてもらい、ブラジル人の愛に多く触れた6月だなと思いました。6月で授業が終わり、長期休暇に入りますので、さまざまなことを残りの期間も体験したい。

月間報告書　2024年7月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

7月の教育編は入力がありません

Ⅱ．授業内容

7月の教育編は入力がありません

Ⅲ．生活編

7月はブラジルに在移住している駐在員のご紹介でSão Judasという場所で開催された日本祭りのボランティアに他の日本からの留学生のかたたちとともに参加させていただきました。日本祭りとは、ブラジルにある県人会を含めたさまざまな団体が日本食を提供したり、コスプレ大会が開催されたり、日本の魅力をブラジル人に体感してもらうお祭りになります。僕は宮城県人会のお手伝いをさせていただき、おにぎり、唐揚げ、餃子、シュークリームを提供しておりました。日本祭りは3日間朝から晩まで開催しており、早朝に準備がありましたので、泊まり込みで参加しておりました。紹介してくださった駐在員かたがブラジルのアジノモトに務めている影響で餃子はアジノモトの餃子を提供しており、アジノモトの餃子の魅力をブラジル人に知ってもらうためにお客さんにポルトガル語で説明したり、県人会に入っているブラジル人と働いたり、留学ならではの体験をさせていただきました。3日間、お手伝いさせていただいたので、県人会の方からはこの期間のご飯をごちそうしてもらえたり、ブラジル人の親切心も体感することができました。

月間報告書　2024年8月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	ToponímiaⅣ	地名学Ⅳ	480	授業
2	Aspecto de Cultura BrasileiraⅡ	ブラジル文学の側面Ⅱ	480	授業
3	Cultura JaponesaⅡ	日本文化Ⅱ	480	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

木曜日の2限にある授業。地名学はとても珍しい授業であり、ブラジル国内でもUSPの大学にしか地名学の授業はないらしい。この授業はブラジルにある地名を地学的視点からみて、土地の名前の由来を学ぶ

No.2

前学期に引き続きこの授業を選択。週に教授が替わるので、さまざまな先生からブラジルについて学ぶことができる。今月はブラジルの地理的位置をGoogle mapを使用して、緯度経度などや地理的特徴を学んだ。

No.3

前学期に引き続き、日本文学を選択した。この授業は日本の歴史をポルトガルで学ぶ。今月は日本の侍がいつから始まり、どのような暮らしをしていたかを学んだ。

Ⅲ．生活編

CEPという大学内にある運動場でブラジル人の友達と、日本の交換留学生とともにフットサルをした。そのフットサルには初めて出会うブラジル人もおり、新しいコミュニティのなかでスポーツをすることができた。部活としてハンドボール部に所属しており、ブラジル人とスポーツをすることが多いが、日本人と比べてブラジル人は身体が強く、身体の能力も高いと感じた。フットサル後は、ブラジル人の友達の誕生日パーティに招待してもらったので、参加しました。日本では誕生日を迎える人の友達がパーティーの準備や場所の予約、人数を集める印象であるが、ブラジルでは誕生日を迎える本人がすべて行うので、少し日本と違うと感じた。パーティーではカラオケ会場を借り、人数は20人ほどで行われ、多くの人が友達を祝うために歌ったり、ケーキをみんなで食べたり、大いに盛り上がりました。

月間報告書　2024年9月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	ToponímiaⅣ	地名学Ⅳ	600	授業
2	Cultura JaponesaⅡ	日本文化Ⅱ	600	授業
3	Aspecto de Cultura BrasileiraⅡ	ブラジル文学の側面Ⅱ	600	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

連邦政府によって設立された委員会はブラジルで発生した重大な人権侵害を調査することで、ブラジルの地名から軍事独裁政権の痕跡を消去し、地名を変更した。

No.2

日本の武士が将軍に捧げていた忠誠心とはどのようなものか、なぜ軍は将軍に忠誠を誓えたのかを学んだ。そして鎌倉時代から室町時代に時代が変わるときに北条家から足利家に政権が移る流れを学んだ。

No.3

代表的なブラジルの音楽の種類やその歴史を学んだ。ブラジルの代表的な音楽の種類はbossa nova, funk, sambaなどがあげられ、ブラジルのバーではsambaガその場で演奏されていることが多くとても身近な音楽である。

Ⅲ．生活編

９月は私の留学生活を助けてくれていた日本語を学んでいるブラジル人の友達が交換留学生として日本に留学するので、そのお別れ会があった。vila loubosという

場所にある大きな公園でお別れ会に参加する人たちがそれぞれ飲み物やお菓子、サンドイッチなどを持ってきて、ピクニックをした。なかには手作りでケーキを作ってみんなに振る舞ったりしていた。そのピクニックには多くの友達が参加しており、食事の後はみんなでバレーやサッカーなどをして楽しんだ。ドッチボールをしたのだがルールが日本と少し違っていた。日本では首から上がボールがあたってもアウトにはならないが、ブラジルでは首から上以外にも手の平にあたってもアウトにならないというルールがあり、そのルールに私含めた他の日本留学生は苦しめられた。そのピクニックが終わった後は、日本に留学する友達を見送るために空港まで一緒に行った。私はブラジルに着いて以来の空港だったので、少し懐かしい気持ちのなったが今まで仲良くしてくれたブラジル人と少し間会えなくなるので、さみしかったが、私が日本に帰国した時は次は私がその友達を助けになろうと思った。

月間報告書　2024年10月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	ToponímiaⅣ	地名学Ⅳ	600	授業
2	Cultura JaponesaⅡ	日本文化Ⅱ	600	授業
3	Aspecto de Cultura BrasileiraⅡ	ブラジル文学の側面Ⅱ	600	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

USP(サンパウロ大学)の最寄り駅Butanta駅の周辺に何があるのか。大学内ではカピバラが見れるというように今月は大学付近について紹介されていた。

No.2

10月は中間テストが行われた。範囲は鎌倉時代から室町時代までで、内容はその時代にどのようなできごとが起きたのかなど、日本の歴史のテストのように言語を覚えるのではなく、その時代の背景や出来事を覚える必要があった。

No.3

先生がアルメニア語を大学内で教えている先生で、今月はアルメニアの言語や文化、伝統料理などについてブラジルや他の国と比較しながら学んだ。

Ⅲ．生活編

10月はサンパウロより北に位置するOuro pretoという地域に2泊3日の一人旅に出た。その地域まで夜行バスを利用したのだが、思ったよりも座席は広く快適に過ごすことができた。Ouro pretoは昔、鉱山の町でありポルトガルに金を多く輸出していたので町並みや家などポルトガルの影響を受けている。歩いていてもよい意味でブラジルを歩いている感覚ではなく、ヨーロッパを歩いている感じであった。私のこの旅の目的のひとつはお土産としてコーヒー豆を買うことだった。友達にコーヒー豆を買いたいと話したところOuro pretoが有名であることを教えてくれて、旅をすることに決めた。あえて何も調べずすべて現地の人に聞こうと思っていたので、行き方以外なにも調べなかった。さまざまな人に有名な観光地やコーヒー豆を買える店などを聞いて、人とのつながりを大いに感じることができた。

月間報告書　2024年11月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	ToponímiaⅣ	地名学Ⅳ	600	授業
2	Cultura JaponesaⅡ	日本文化Ⅱ	600	授業
3	Aspecto de Cultura BrasileiraⅡ	ブラジル文学の側面Ⅱ	600	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

ブラジルの観光名所が紹介され、その場所が観光地になったのは歴史的背景があるのか、政治的背景があるのかを学び、課題として自分の国の観光地を紹介し、その紹介した観光地の歴史的背景、政治的背景を書いた

No.2

江戸時代の代表的な、美術作品について学んだ。主に人形浄瑠璃についての授業が多く、代表的な作品をビデオで見て、今でも日本で大切に守られている文化の一つであることをポルトガル語で学んだ。

No.3

ブラジルのサッカーの歴史について学んだ。ブラジルでサッカーが盛んな理由は、昔。ブラジルがヨーロッパの国の植民地であったとき。ブラジルにサッカーが広まった。世界では野球も人気だが、ブラジルで野球より、サッカーが人気な理由は、サッカーはボールだけでできるスポーツとして、費用もかからないという理由が1つ挙げられる

Ⅲ．生活編

12月のはじめに3泊4日のリオデジャネイロへ一人旅に出かけた。ブラジル留学に行く前に、必ず行こうとしていた憧れの場所にやっといくことができた。リオまではサンパウロからバスで6時間ほどであった。リオに到着してすぐに、宿泊していたホテルから歩いて5分ほどで到着するコパカバーナビーチに散策しにでかけ、ビーチの端から端まで歩いた。コパカバーナビーチの前の大きな通り沿いにはさまざまな店が展開されおり、夕食後にはその店舗に並ぶカイピリーニャというブラジルのお酒が売られている店でカイピリーニャを飲んだ。そこで現地のブラジル人と仲良くなり、計十人ほどのブラジル人と会話をしながら楽しんだ。次の日にはコルコバードの丘に行き、リオの代表的な観光地のキリストの銅像を見に行った。そこでも写真を撮るのに苦戦していたブラジル人に声をかけ、彼らのために写真を撮ると、逆に写真を撮る協力をしてくれたので、そこから仲良くなり、会話を楽しんだ。そして別れ際に一緒に写真を撮ってもらった。

一人で旅をしたからこそできた、会話の時間、人とのつながりを体験できてとても貴重な時間を過ごせた。

月間報告書　2024年12月分

学籍番号　　留学先　サンパウロ大学

氏名　　留学期間　2024/04/01～2025/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Cultura JaponesaⅡ	’日本文化Ⅱ	180	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

サンパウロ大学で受ける最後の授業であった。内容は今まで受けた授業の内容や感想書いて、提出するものであった。この授業は日本の歴史的背景を元に授業が進められていたが、日本での歴史の授業とは別のものであったためそのことについて書いた。

Ⅲ．生活編

帰国が12月であったため、この月ではリオやアマゾンの地域に最後の旅行に出かけた。リオには一人で行き、学んできた言語をいかし、さまざまな人たちと会話を楽しみながら、観光をした。アマゾンには留学して初めて日本人留学生たちと旅行に行った。日本では体験できないようなワニのツアーや川のイルカと泳ぐツアーなどさまざまな体験をした。これらの旅も楽しかったが、帰国する前にハンドボールのメンバーと留学生活でいつも助けて入れた友達と一緒に飲みに行った。

ハンドボールのメンバーにはユニフォームのプレゼントをもらったうえに、彼らが日本にいくときは必ず連絡をすると言ってくれたので、私も必ずブラジルに会いに戻ることを約束しました。帰国直前で仲良くしてくれた友達に会い、最後に思い出話をして、留学をすることができて良かったと思いました。